

社会学

教員名

教育研究開発センター 教養教育部門

講師 佐々木 洋子

I 一般学習目標

わたしたちの生きる「社会」とは、いったいどのようなものであり、どうしたらよりよくなるのだろうか。本講義では、「社会学 sociology」の立場と問題意識から、こうした問いについて考える。社会学の様々な領域での研究にふれることを通じて、現代社会を生きる人びとの多様な背景を理解するための感受性を身につけることを目指す。

II 個別学習目標

- ・社会や人間を理解する視点の一つとして、「社会的なもの見方」ができる。
- ・講義で扱う社会学の基礎理論や専門用語を説明できる。
- ・講義で紹介する社会学の個別の研究領域で用いられている理論や概念を説明できる。
- ・こんにちの日本の社会状況を概観できる。
- ・現代家族の特徴を説明できる。
- ・現実の社会現象（現代社会や現代社会を生きる人々の意識や行動）に関心を持ち、調べることができる。
- ・現実の社会現象を社会学の用語や理論を用いて説明できる。
- ・現代の社会問題の具体例を挙げることができる。
- ・自分の言動について、社会学の理論を用いて解釈することができる。
- ・社会現象や社会問題について、自分の意見を述べるることができる。
- ・自分と社会のつながりについての考察を深めることができる。

III 教育内容

以下のように講義を進める。進度により内容が前後することがある。

1. イントロダクション
2. 予言の自己成就
3. 社会学的自己論
4. 準拠集団
5. 規範と逸脱
6. 感情と労働
7. 近代化と社会問題
8. 都市
9. 官僚制の逆機能
10. 家族 (1) 家族とは
11. 家族 (2) 近代家族の成立
12. 家族 (3) 家族とケア
13. 全体のまとめ

IV 学習および教育方法

講義形式（この授業は、「用語」や「正解」を覚えることを目指すものではない。答えのない問いについて自分で考察し続けること、それを他者に的確に伝えることができるようになることを目指す。その助けとなるよう受講生同士のグループワークやディスカッションを取り入れることもある）。適宜、資料を配付する。また、映像資料を用いることもある。

V 評価の方法

全学的基準を前提とし、毎回の授業内課題（コメントペーパーなど）50%、期末試験 50%で評価する。

VI 推薦する参考書

講義中に随時紹介する。

講義日程表(社会学)

No.	月日	曜日	時限	項目	担当教室	担当
1	R4.9.26	(月)	1	イントロダクション	教育研究開発センター	佐々木
2	R4.10.3	(月)	1	予言の自己成就	教育研究開発センター	佐々木
3	R4.10.17	(月)	1	社会学的自己論	教育研究開発センター	佐々木
4	R4.10.24	(月)	1	準拠集団	教育研究開発センター	佐々木
5	R4.10.31	(月)	1	規範と逸脱	教育研究開発センター	佐々木
6	R4.11.7	(月)	1	感情と労働	教育研究開発センター	佐々木
7	R4.11.14	(月)	1	近代化と社会問題	教育研究開発センター	佐々木
8	R4.11.21	(月)	1	都市	教育研究開発センター	佐々木
9	R4.11.28	(月)	1	官僚制の逆機能	教育研究開発センター	佐々木
10	R4.12.5	(月)	1	家族(1)家族とは	教育研究開発センター	佐々木
11	R4.12.12	(月)	1	家族(2)近代家族の誕生	教育研究開発センター	佐々木
12	R5.1.16	(月)	1	家族(3)家族とケア	教育研究開発センター	佐々木
13	R5.1.18	(木)	1	全体のまとめ	教育研究開発センター	佐々木